

2026 年 9 月 4 日

各 位

会社名 SBI グローバルアセットマネジメント株式会社
(コード番号 4765)

(上場取引所 東京証券取引所 プライム市場)

代表者 代表取締役社長 朝倉 智也

開示責任者 常務執行役員 CFO 小笠原 靖行

運用資産残高の月次開示 (2026 年 8 月末)

—資金純流入+932 億円、残高は前月末比+2.9%の 14 兆 2,458 億円と過去最高を更新—

当社グループの 2026 年 8 月末の連結運用資産残高は 14 兆 2,458 億円（前月末比+2.9%、前年同月末比+92.2%※1）となりました。資金純流入は+932 億円と流入基調が継続し、内外株高に伴う時価変動（+3,124 億円）とあわせて、残高はこれまで最高だった 2026 年 6 月末（13 兆 9,804 億円）を上回り過去最高を更新しました。

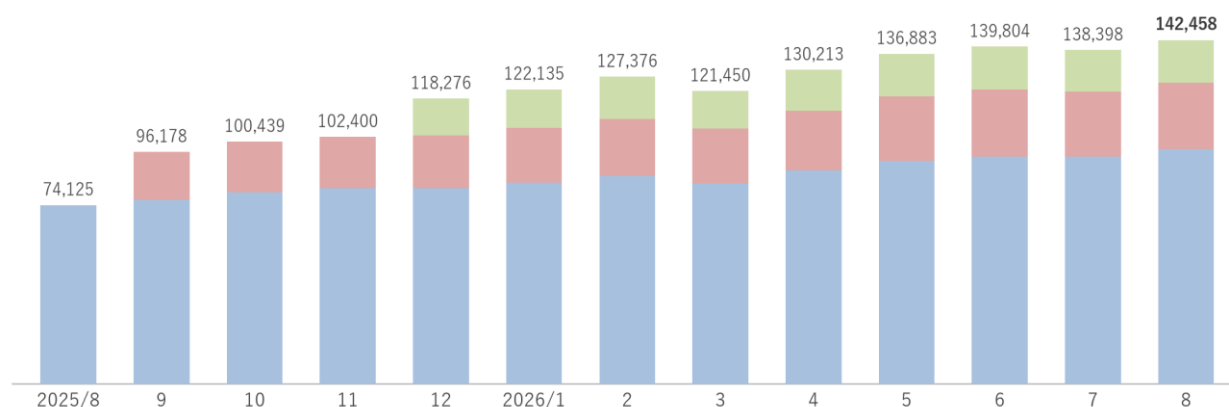
1. グループ連結 運用資産残高（各月末・億円）

	25/8	25/9	25/10	25/11	25/12	26/1	26/2	26/3	26/4	26/5	26/6	26/7	26/8
連結運用資産残高※2	74,125	96,178	100,439	102,400	118,276	122,135	127,376	121,450	130,213	136,883	139,804	138,398	142,458
前月末比	—	+29.8%	+4.4%	+2.0%	+15.5%	+3.3%	+4.3%	▲4.7%	+7.2%	+5.1%	+2.1%	▲1.0%	+2.9%

<連結運用資産残高の推移（運用会社別）>

(億円)

■ SBI アセットマネジメント (CARRET等含む) ■ SBI 岡三アセットマネジメント ■ レオス・キャピタルワークス



※1 前年同月末比は連結範囲の変更を含みます（2025 年 8 月末時点の連結運用資産残高には、SBI 岡三アセットマネジメントおよびレオス・キャピタルワークスを含んでおりません）。

※2 投資信託（公募・私募）、投資顧問、海外子会社（CARRET 等）を含むグループ全体の運用資産残高であり、2. の表の区分（投資信託／投資顧問・海外子会社等）とは異なります。なお、月次推移は各月末時点の連結範囲に基づき、SBI 岡三アセットマネジメントは 2025 年 9 月末（2025 年 9 月 11 日連結子会社化）から、レオス・キャピタルワークスは 2025 年 12 月末（2025 年 12 月 1 日吸収合併）から合算しています。

2. 運用会社別 運用資産残高

	7 月末 (億円)	8 月末 (億円)	前月末比	前年同月末比
投資信託	127,864	131,921	+3.2%	+35.0%
S B I アセットマネジメント	87,780	90,880	+3.5%	+36.5%
S B I 岡三アセットマネジメント	25,026	25,805	+3.1%	+41.1%
レオス・キャピタルワークス	15,058	15,236	+1.2%	+18.7%
投資顧問・海外子会社等※3	10,534	10,537	+0.0%	+6.7%
連結合計	138,398	142,458	+2.9%	+92.2%

※3 投資顧問・海外子会社等の 8 月末は、同日に最も近い時点で確定している数値の合計です。

3. 増減の内訳（資金流入と市場要因の分解・各月中・億円）

	25/8	25/9	25/10	25/11	25/12	26/1	26/2	26/3	26/4	26/5	26/6	26/7	26/8
資金純流入※4	+362	+446	+2,103	+654	▲276	+1,863	+1,290	+1,209	▲296	+1,187	+1,532	+1,389	+932
市場要因※4	+502	+2,273	+3,843	+1,125	+1,036	+1,838	+3,481	▲7,086	+8,527	+5,107	+1,057	▲2,861	+3,124

※4 資金純流入・市場要因は、グループ各社の国内投資信託（公募・私募）ベースの概算値です。集計範囲が連結運用資産残高と異なるため、両者の合計は連結残高の増減額とは一致しません。月次推移の各月値も、各月末時点の連結範囲に基づき集計しています。

4. 当月の市場環境

	7 月末	8 月末	騰落率
日経平均株価	64,362.02	66,311.93	+3.0%
TOPIX	4,003.30	4,156.29	+3.8%
S&P500	7,489.72	7,686.14	+2.6%
NASDAQ 総合	25,373.85	26,370.89	+3.9%
ドル円	157.57	159.73	+1.4%

8 月の市場は、7 月に大きく調整した A I ・半導体関連の持ち直しを受け、国内外ともに堅調に推移しました。月末にかけてはジャクソンホール会議を受けた米追加利上げ観測から上値を抑えられる場面もありましたが、月間では日経平均株価が+3.0%、T O P I X が+3.8%、S & P 500 が+2.6%、N A S D A Q 総合が+3.9%と揃って上昇しました。為替は、月初に一時 1 ドル=155 円台まで円高が進んだ後、日米金利差を意識した円売りから月末にかけて 160 円近辺まで戻し、前月末比+1.3%の円安となりました。

5. 当月の主なトピックス

- S B I アセットマネジメント：運用資産残高が 8 月 12 日に 9 兆円に到達。NASDAQ100 ファンドの残高が 8 月 18 日に 1,000 億円に到達したほか、「SBI-Man AI インサイト日本株式ファンド」新規設定。
- S B I 岡三アセットマネジメント：公募投信「ニッポン国家成長戦略ファンド」を新規設定。「ROBOPRO ファンド」の残高が 4,500 億円を突破しました。
- レオス・キャピタルワークス：日本政府の成長戦略等に関連する企業に投資する「ひふみポリシードライブ pro」を新規設定。直販口座数は、131,078 口座、前月末比+967 口座と増加が継続。

6. GAM2030 ビジョンへの進捗状況

当社は、2027 年 3 月期中の運用資産残高 20 兆円、2030 年 3 月末の 50 兆円を目標としております。当月末の連結運用資産残高 14.2 兆円は、20 兆円目標に対して 71%、50 兆円目標に対して 28%の水準です。

次回開示予定

2026 年 9 月末の運用資産残高は、2026 年 10 月の 5 営業日までに開示する予定です。

※本資料に記載の数値は速報値・概算値を含み、集計範囲・集計時点等の相違により、決算関連資料の数値と異なる場合があります。

****【本件に関するお問い合わせ先】*****

SBI グローバルアセットマネジメント株式会社 管理本部 電話:03(6229)0812 メールアドレス: sbigam@sbiglobalam.co.jp